

# 全国連盟通信

第31期 No.6  
2015年4月27日  
発行責任者  
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL <http://www.njsf.net>

つなごう 支援の輪

## 感慨ひとしお、今昔往還

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

↓最近のスポーツ連盟の活動から



岩手・宮城で「春休み子どもスキー」を開催（今年で4回目）。被災地の子どもたち140人以上をスキー場に招待した。（上）東京水泳協議会の技術講習会、トップスイマーを招いて。（中）関西ブロックのテニスセミナー。実技やマナー、ルールなどを学んだ。（下）

スポーツ連盟創立50周年の年、2015年も4ヶ月が経過しました。その間、いろいろな会議がありました。その中で全国的な会議は、2月開催の評議員会に続く、4月の理事会でした。

諸会議における論議を聞きながら湧いてきた感慨は、「連盟創立50周年の年を『運動と組織の前進』の中で迎えよう」という呼びかけが、認識というか、受けとめ方というか、一段一段と束ねられ、草の根から気持ちが一つになってきたというものです。このことは、すごく大切なことだと思います。

それはなぜか。スポーツ連盟規約の第5条・6条で「連盟は、都道府県連盟及び全国種目組織によって組織される全国的総合的スポーツ団体である」「都道府県連盟及び全国種目組織は、連盟の目的を達成することで一致した統一的性格を持つ運動組織」とあり、自らを規定しているからです。そして、この間の論議を通じて到達した認識の一致、気持ちの一体化は、その内実を作り上げたからです。

私たちは、創立50年の年に創立100年へと、みんなで歩み行くエネルギーを秘めた運動組織を作り上げたといえるのではないのでしょうか。

この未来へと向かう今日の感慨は、50年前の連盟創立当時の感慨と往還するのです。「スポーツは万人の権利」という理念と「スポーツは文化」という原理に支えられて、「いつでもどこでもだれもがスポーツを」というスローガンのもと、連日のように活動や運動に取り組みました。

その時の感慨は、「これから、国民の新しいスポーツの時代を、自分たちの手で切り開くのだ」というものでした。苦勞した時もありました。でも、眼前に広がる国民スポーツの未来に夢を託して、歩み続けました。そして、切り開かれた新たな地平が、新たな夢を抱かせるのです。

これからも、「夢（理想）が現実を切り開く」という格言にも似た言葉を、共通の思いにして歩んでいきたいものです。

第31期第6回理事会は、4月11日、12日の2日間、東京のスポーツ連盟事務所をメイン会場に直前の三役会議を含め、大阪・兵庫・宮城の各連盟事務所および理事の自宅4カ所をスカイプ（パソコンによる音声・映像通話）で結び、理事26名と会長・副会長4名の参加で実施しました。



スカイプを使って理事会

昨年12月の第4回理事会スカイプ会議で、ある程度スカイプのやり方を習得しましたが、今回も通信回線の混雑や機器の接続操作ミスによるトラブルもありました。しかし、会議は評議員会の総括から2015年度の取り組みを活発な発言で討論しました。

次回の第7回理事会は、8月29～30日の予定でしたが、6月7～8日に組織拡大交流会議と併せて開催します。以下、理事会内容を抜粋して報告します。

## ・若手懇談会

3月14日京都市において、「第2回若手懇談会」を17名（平均年齢39.9歳、男性15・女性2）の参加で開催。今後、若手活動の共有と拡大をすすめるとともに、意見の具体化・方針化を検討します。なお、参加者である前川由香さんは、4月19日北海道連盟総会で新事務局長となりました。

## ・スポーツ活動・組織

全国スポーツ祭典におけるバスケットボール大会のあり方や次回2016年の開催について論議。ここ10年間をみると、赤字決算となっていますが出場チームに広がりがあり、参加費の値上げや各地での予選会開催と組織化をすべき等の意見が出ました。全国連盟の方針を確立すべく、バスケットプロジェクト（メンバー6名）

を緊急発足し、6月7～8日の理事会・組織拡大交流会に提案し確認をしていきます。

また、組織拡大について、各組織の状況と意見交換を行いました。6月6～7日の組織拡大交流会議の成功に向けて、更なる調査と分析をします。

## ・広報

「スポーツのひろば」“8月末までに2500部達成”に向けて検討。色々な手立てであと、ひとふんばりしていきます。

## ・スポーツ権・平和運動

東京～広島～長崎1500km反核平和マラソンと国際交流の全体調整をする委員に、和食理事長、福島事務局長、萩原スポーツ権・平和運動局長、小林国際活動局長、石川理事、宮内理事の6名を選出しました。

## ・国際活動

F S G T 80周年記念国内・国際会議（アッシーズ）に代表団を派遣、50周年記念事業としての国際シンポジウム開催と東京～広島～長崎反核平和マラソンへの仏・韓国代表団を招待するなど、盛大な取り組みをより多くの人に伝え、成功させていきます。あわせて、募金への協力を広くお願いしていきます。

## ・創立50周年記念事業

11月7日開催のシンポジウムとレセプションをセットにしたチラシを5月末迄に作成し、案内送付の予定です。顕彰への応募が未だなく、積極的な取り組みになるよう対策をしていきます。

## ・第32期機構・役員検討委員会

新日本スポーツ連盟第32期機構・役員検討委員会を設置すること確認しました。この検討委員会は、創立50年を終えて、新たな出発点とするためにふさわしい、機構と役員体制を実現することの検討および人事の調整を行うことを任務とします。検討委員は次の9人、永井会長、和食理事長、福島事務局長、青沼副理事長、小林副理事長、佐藤副理事長、萩原副理事長、竹折理事、宮内理事です。

## ・その他

スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所の活動報告、ミックスバレーボールセンターの活動と財政問題の検討、女性ネットワーク活動の報告などを行いました。



## 組織的な前進の中で50周年を迎える取り組みに 知恵と力を結集しよう！

スポーツ活動・組織局長  
福島邦夫

スポーツ連盟の組織拡大は、「暖かさと連帯に充ちたスポーツの仲間づくり運動」を具体化し、スポーツ愛好者の多様な要求に応え、「スポーツきみが主人公」の精神にもとづき、スポーツを楽しむ向上する喜びを自から実感するとともに、より多くの人びとに広げ共有しようというものです。そのために、現在加盟しているスポーツクラブ・チームの活動を活発にして会員を増やすこと、新たにクラブをつくること、種目組織やリーグの競技活動を通じてクラブ・チームの加盟や登録を広げるなどの活動を継続してすすめていきましょう。

同時に、スポーツを行う動機や楽しみ方が多様になり、他方、スポーツを行うために不可欠な「費用、余暇、施設」を確保することが困難になっています。それだけに、スポーツをやりたい人は「だれでもがスポーツを楽しめるようにする」というスポーツ連盟の基本理念を大いに強調し、スポーツ要求とスポーツ活動の多様な変化をよく分析し、現実には則した方針を具体化し推進する取り組みに知恵と力を結集しましょう。

2月21～22日に開催された第31期第1回評議員会において、「スポーツ連盟の組織拡大は、2015年11月の創立50周年を節目とし、全国的には10%増を目標の目安とし、各連盟組織は自主的な目標を持ち、評



議員会以降すぐに4月を目途に、計画を具体化すること」が確認されました。よって、創立50周年を「運動と組織の前進の中で迎えよう」の方針を推進することを目的に、「組織拡大交流会議」を、2015年6月6～7日に東京で開催します。

会議の内容は、スポーツの組織化をめぐる新たな状況にいかに対応するかおよび全国種目組織の活動の強化を軸にした討論と、各連盟組織の組織拡大の経験交流を行う方向で具体化します。万障お繰り合わせの上ご出席くださるようお願い致します。

## 6月6日～7日「組織拡大交流会議」開催！

期日 2015年 6月6日～7日

会場 東京都豊島区 生活産業プラザ 8F 多目的ホール

内容 6月6日 13:30～17:00

活動・提案レポート「新たな可能性からの教訓をみんなものに」1日目終了後 懇親会

6月7日 9:30～15:00

リレー報告「組織からの2015年組織拡大計画とその課題」

討論「3テーマぐらいに絞って」

スキルアップ講座「Facebook（フェイスブック）を始めよう！」

出席対象 ①都道府県連盟および全国種目組織（準備会含む）の組織拡大の責任者1名（理事長、事務局長、組織担当者など）。なお、複数の参加は可能です。※必ず組織的派遣をお願いします。

②上記以外に、全国連盟が派遣を要請した方

参加者への交通費、宿泊費の支給について

①全国都道府県連盟および全国種目組織各組織の代表1名分の交通費と宿泊費を支給します。

また、全国連盟から派遣を要請した方についても同様です。

②複数の参加の場合、上記①以外の方の参加費用は各組織で負担してください。

③経費節減のため早割りチケットやホテル付のパックなどご利用ください。

申込先 新日本スポーツ連盟 スポーツ活動・組織局 宛

申込締切 5月22日（金）までをお願いします。

## 福島～東京反核平和マラソン 実行委員会と準備が活発に

4月18日、福島～東京300km反核平和マラソンの第1回実行委員会が開催されました。福島県労連の野木事務局長、福島原水協の石堂事務局長、全法務労組福島支部の富田福委員長と新日本スポーツ連盟スポーツ権平和運動局から石川、萩原の2名が県労連事務所に集結しました。

福島原発事故による多大な被害を被っている福島県民と意思を一つにして走るといった目的は一致したものの、さて、反核平和マラソンが実際にどのように展開されるのか、イメージが全く湧かない中で始まった実行委員会。しかし、通しランナーのこと、サポートランナーのこと、出発セレモニーや歓迎セレモニー、途中の給水体制など、具体的な流れを理解していただくと「なるほど」と納得が得られ、話が弾んでいきました。出席団体のほか、郡山民医連、郡山民商、新婦人などの名前もあがり協力の輪が広がる見通しが出てきました。

サポートランナーと一緒に走る区間は、福島県庁から市内を抜ける6km区間、郡山三春街道入口から市内8km区間、宇都宮市内の5km区間と決めて、たくさんのランナーとアピールランをします。全国各地から、ランナーのエントリーを募ってください。

## 「反核平和スポーツのつどいin広島」に 全国から集まって！

7月27日に東京を出発する1800km反核平和マラソンの通しランナーが、8月5日に広島に到着します。このランナーを迎えるセレモニーと合わせて、この日は、「反核平和スポーツのつどいin広島」という企画を立てています。



加えて、今年は、フランスFSGTから約30名の皆さんが、反核平和についての研修と、翌日には長崎に向けて反核平和マラソンに参加するために、ここ広島にやってきます。戦跡巡り、平和資料館見学、反核平和マ

ラソン交流の集い、広島城公園反核平和マラソンへの参加、反核平和ウォーキング、平和大好き卓球大会、反核平和マラソン広島出発式、そして平和のうたごえ交流などたくさんの企画が用意されています。

各連盟から、「スポーツは平和とともに」を研修するために、たくさんのスポーツ愛好者に呼びかけてください。

この企画の最後は、全国の連盟組織、種目組織のみなさんに、協賛金を全国連盟に届けていただくことをお願いします。別途、要請文を送付いたしますが、福島～東京～広島～長崎の反核平和マラソンの成功のために、協賛金を約80万円ほど集める予定です。一口5000円で何口でも受け付けます。積極的に答えていただくことをお願いします。

## これでいいのか 2020オリンピック・パラリンピック

国立競技場はもうほぼ解体されてしまい、周りの木々も一思いに伐採されてしまいました。「解体しなくても改修すれば利用が可能だ」と言われながらの解体にたくさんの疑問の声が寄せられています。

解体中の国立競技場



昨年IOC総会で採択された「アジェンダ2020」では、競技場整備は既存施設を利用すること、あるいは最大限仮設の施設を利用すること、他の都市の施設も利用することとなっています。この「アジェンダ2020」の指針があることで、埼玉県や神奈川県既存施設を利用する見直しがされていることは大歓迎であるし、これまでたくさん市民の声をぶつけてきた成果でもあります。

オリンピック・パラリンピックを考える都民の会は、第4回シンポジウムを開催します。テーマは「障害者スポーツの発展のために」です。5月16日(土)13時より東京都豊島区・東池袋の「豊島区舞台芸術芸術交流センター」で開催します。日本のパラリンピック事情や障害者がスポーツからどのくらい縁遠い生活をしているかなどの問題を知る良い機会ですので、是非皆さんご参加ください。



# 5月に仏へ派遣 11月は仏・韓を招待

国際活動局長  
小林章子

## F S G T 80周年国際会議（アッシーズ）に スポーツ連盟から代表团

5月14～17日、フランスのスポーツ団体・F S G T（フランス勤労者スポーツ・体操連盟）80周年記念アッシーズがマルセイユで開催されます。F S G Tより4名の招待がありました。スポーツ連盟からは、小林章子国際活動局長、大阪府連盟の専従職員・関戸弘充さん、全国連盟副会長の伊賀野明さんの3名とスポーツ科学研究所事務局長の青沼裕之さんの計4名が派遣されます。参加国は16で、アジアからは韓国と日本が参加します。



FSGT アッシーズの案内

会議は4つの全体会議、10のシンポジウム、25のワークショップが予定されています（例えば、スポーツと社会・世俗・女性・地域・スポーツ施設など）。スポーツ連盟では、詳細が判明次第、発言内容などを決めていきます。今のところ、反核平和マラソン・スポーツ科学研究所・2020年東京オリンピック・パラリンピックなどについて発言を予定しています。参加国との交流とF S G Tの80年の歴史を学びたいと思います。

FSGT80周年国際会議アッシーズ

### スポーツ連盟代表团 結団式・壮行会

期日：4月30日（木）16:00～

場所：東京・スポーツ連盟事務所

参加希望の方は、全国連盟まで

## 50周年記念事業としての 国際シンポジウム

国際シンポジウムは2015年11月7日午後開催します。このシンポジウムには、韓国市民連帯とF S G Tから代表团を招待し発言と討論に参加していただきます。

東京～広島～長崎反核平和マラソン（7月27日～8月8日実施）に韓国1人のランナーを招待します。さらに広島～長崎反核平和マラソン（8月6日～8日実施）にF S G T4人、韓国2人を招待します。

さらに広島～長崎反核平和マラソンには、F S G T加盟のスタン市E S S陸上クラブの青少年25名の参加が予定されます。この「日本プロジェクト」はフランス、サントニ県とスタン市から補助金が出ていて、さらに在日フランス大使館の後援も得て行われる事業です。

これはF S G Tとの交流協定に基づく事業ではありませんが、できるだけ「可能な協力」をしていきます。

## 韓国市民連帯との交流

スポーツ連盟と交流している韓国のスポーツ団体・体育市民連帯が行う「第3回反戦・反核・平和マラソン大会」（今年8月、広島～長崎平和マラソンの後に開催予定）に、代表团を派遣します。なお派遣にあたっては、公的代表团とともに一般募集の代表团を募ることも検討します。



前回の「第3回反戦・反核・平和マラソン大会」（2013年）

## 在日外国人とのスポーツ交流活動

豊島区の南長崎体育館で定期的（土曜日の午後）に卓球練習会を計画中です。

# 「ひろば」普及 2500部を目指して 現在2263部

広報局長  
佐藤信樹

「広報4ツール」の充実 2015年も継続して、以下の「広報4ツール」の充実に努めます。

## 1) 報告・連絡文「全国通信」

全国連盟の方針・情報を伝える  
理事会後に速やか(2週間後)に発行  
理事会と理事会の間に拡充版を発行

## 2) 宣伝物・「ニュース」

第31回全国スポーツ祭典への支援と協力  
50周年記念7事業への支援と協力  
リーフレット・パンフ・ノベルティ・Internetなど  
必要としている組織の要求に応えた支援・援助

## 3) 機関誌「スポーツのひろば」

2,500部以上を目標とする  
各組織が立てた自主目標を早期に実現  
できるよう取り組む

## 4) Internet「ホームページ」

活用の強化  
各組織への支援策の具体化を検討  
フェイスブック、ツイッターの活用

## たくさん普及した種目組織に「功労賞」を検討中

「スポーツのひろば」については、“8月末までに2500部達成”という目標に向けて、普及活動に取り組んでいます。2月の評議員会以降、「ひろば普及・組織拡大ニュース」を2回発行。また、宣伝誌の積極的な活用を呼びかけています。4月号は、表紙や記事で卓球の写真が多く載せられていたため、各卓球協会から「宣伝誌を送ってほしい」というリクエストがいくつかありました。実際、この間に卓球関係者で10部ほど読者が増えています。

このように、各種目協会での「ひろば」普及の取り組みも重要です。「スポーツのひろば」編集部では、種目特集号(ひとつの種目に特化した号)を企画し、「ウチの種目を是非取り上げてほしい」と手を挙げてくれる協賛会を募集しています(現在、9月号でランニング特集を予定)。こうした企画を利用して、自分の種目の

ことが全面に出ている「ひろば」を活用しながら、読者拡大につなげてほしいと思います。

2014年度は、「たくさん普及した都道府県連盟に功労賞を」という趣旨で「ひろば・オブ・ザ・イヤー」を実施しました。今度は、「種目組織を対象にできないか」ということで、いま検討中です。

是非、各種目組織も都道府県連盟も、「ひろば」の普及に努めてもらえるようよろしくお願いします。



## 東北復興支援 「義援金」報告

### 義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	募金 合計	9,950,185円
*FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む		
B義援金(公的機関への募金)	募金 合計	178,976円
2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金		

### A義援金(スポーツ連盟支援募金) 2011年3月～

被災者お見舞金	3,620,000円
宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	1,983,270円
東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代)	827,179円
行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～)	2,172,605円
充当 合計	8,603,054円

募金 残高	1,347,131円
-------	------------

### 第31回定期全国総会資料(2014年3月15-16日)以降の内訳

#### 義援金募金

##### A義援金(スポーツ連盟支援募金)

富山パークゴルフクラブ	2014/2/21	9,200
月例湘南マラソン運営委員会	2014/3/15	48,899
大阪府卓球協	2014/5/20	508,508
和歌山平和大好きマラソン大会	2014/7/8	6,643
広島長崎反核平和マラソン実行委員会	2014/10/3	20,000
富山パークゴルフクラブ	2015/1/22	5,600
関西サッカーシニア交流大会	2015/2/9	10,000
愛知県卓球協会	2015/2/21	10,210
全国連盟(祭典グッズ在庫売上)	2015/4/16	30,000

##### A義援金(スポーツ連盟支援募金) 充当状況

宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	
宮城県連盟	2014/11/19 500,000

##### 行事・競技会、ボランティア活動への支援金

春休み子どもスキー	2014/5/20	400,000
女川ボランティア助成7/8-10	2014/7/8	100,000
全国卓球福島県大会	2014/10/23	150,000
春休み子どもスキー	2015/2/26	400,000

# 新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所 アスリートサポートの在り方を問う

スポーツ科学研究所事務局長  
青沼裕之

スポーツ科学研究所は、第2回運営委員会を3月27日に東京で開催しました。

〈当面の活動予定〉

- ①研究会の開催
- ②在京の会員を中心に「スポーツ運動・政策研究部会」を立ち上げる
- ③関西方面の会員を中心に研究会を継続する
- ④都道府県連盟と種目別協議会の役員の方々との懇談会を開催する
- ⑤『研究年報』の発行
- ⑥「通信」の発行

第1回研究討論会は3月28日に開催。「2020年東京オリンピック・パラリンピック研究」というテーマで宮内泰明さん（新日本スポーツ連盟東京都連盟事務局長）と市井吉興さん（立命館大学産業社会学部准教授）が報告しました。

今後は、「2020東京五輪のどのような遺産（レガシー）を国民のスポーツ振興のために残すべきなのか」などを明らかにすることが研究課題です。

第1回シンポジウムは3月28日に「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツ科学研究とアスリート・サポートのあり方を検討する」というテーマ



マで開催されました。

〈報告の概要〉

川原貴氏（国立スポーツ科学センター長）

日本の選手強化システムの立ち遅れ、つまり、ナショナルトレセンが全国に1カ所しかないこと、ジュニア競技者育成システムが統一されずに放置されていることが最大の問題である。

荒木秀夫氏（徳島大学総合科学部教授）

コーディネーショントレーニングは、運動能力や身体能力というよりも運動学習能力や潜在的な能力を開発することを目的とし、基本的に脳の感受性を高めることを優先して完成度を求めることを戒める。

このようなアスリート・サポートのあり方やトレーニングの実践方法に関する講演や講習会を、今後も開催していきたいと思っております。

## 2015年度全国競技大会開催一覧

種目	開催日	開催地	会場	現在
水泳	11月3日	東京都	辰巳国際水泳場	2015年 4月 20日現在
軟式野球	11月14日～15日	福岡県	春日市を中心に	
バレーボール	11月14～15日	徳島県	徳島市民体育館（14～15日）・徳島アミノバリューホール（14日）	
卓球	一般 12月19～20日	京都府	京都府立体育館	
	年代別 16年1月16～17日	岡山県	桃太郎アリーナ	
テニス	11月28～29日	高知県	高知市春野総合運動公園	
サッカー	東日本 11月22日	宮城県	宮城スタジアム・補助グラウンド	
	西日本 11月15日	大阪府	J-GREEN 堺	
	ファイナル 12月13日	千葉県	フクダ電子スクエア	
	シニア大会 11月28～29日	千葉県	成田中台	
バドミントン	団体戦 6月20～21日	愛知県	名古屋市稲永スポーツセンター	
	個人戦 12月5～6日	愛知県	名古屋市鶴橋スポーツセンター	
ソフトボール	東日本 11月28～29日	埼玉県	戸田市道満ソフトボール場	
	西日本 11月14～15日	高知県	高知市春野総合運動公園	
ウォーキング	9月26～27日	新潟県	「全国交流ウォーク」長岡市山古志	
ミックスバレーボール	11月28～29日	石川県	いしかわ総合スポーツセンター	
新春マラソン	16年1月10日、17日	神奈川県、愛知、大阪、和歌山、兵庫、福岡	＝16年1月10日 滋賀＝16年1月17日	
スキー	16年3月5～6日	長野県	戸狩温泉スキー場	



2015年度全国会議及び主要事業予定一覧 (2015年5月～2016年3月)

月日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織	
<b>【2015年】</b>			
5月	1日	ひろば6月号発行	
	3～5日		全国RC：伊豆ランニングクリニック
	6日	原水爆禁止国民平和大行進東京～広島スタート	
	9日		福岡県連盟総会
	9～10日		第38回全国選抜軟式野球大会（静岡）
	10日		和歌山：反核平和マラソン
	12～19日	FSGT 80周年一環アッシーズに派遣	
	16日	提言討論会「障害者スポーツの発展をめざして」オリパラ都民の会	
	24日		青葉の森ルーマツ（千葉）、和歌山：反核平和マラソン 滋賀県連盟総会 和歌山県連盟総会（5月～6月）
	6月	6～7日	組織拡大交流会議、31期第6回理事会
7日			名古屋市内の戦跡めぐり（10～40km）
8日		ひろば7・8月号発行	
13日			神奈川県連盟総会、石川：反核平和マラソン、富山反核平和マラソン
13～14日			全国勤労者スキー協議会代表者会議
20日		関東ブロック会議	
20～21日			第11回全国バドミントン競技大会団体戦（名古屋）
21日			三重県連盟総会、京都反核平和マラソン
23日		東北ブロック会議	石川：反核平和マラソン
27日		第31回全国スポーツ祭典第1回実行委員会（大阪）、関西ブロック会議	
27～28日			労山全国遭難対策研究会 愛知県クラブ交流集会（準総会）、群馬：反核平和マラソン
7月		3日	ひろば9月号発行
	5日	女性ネットワークのつどい（東京）	長野県連盟総会、宮城：反核平和マラソン
	5日		三重：反核平和マラソン&ウォーキング、和歌山：平和大好きマラソン
	5日		大阪関西網の目反核平和マラソン
	11日		東京反核平和マラソン
	11～12日		神奈川反核平和マラソン
	12日		大阪府連盟定期総会、千葉反核平和マラソン、兵庫平和マラソン
	24～26日	福島～東京300KM反核・平和マラソン	
	26日		福岡：第8回ニコニコペースの平和マラソン
	26日～8月10日	韓・仏代表団を招待（反核・平和マラソン）	
	27日～8月8日	被爆70年東京～広島～長崎反核・平和マラソン	
		北信越ブロック会議	石川県連盟総会（7～8月） 石川：反核平和マラソン
8月	2日		
	3日	ひろば9月号	
	5～6日		反核平和スポーツ愛好者のつどいin広島
	5～6日		第2回メモリアルピースウォークinヒロシマ2015
	6日		滋賀：反核平和マラソン、広島平和マラソン&ウォーキング
	6～8日		反核平和マラソン（広島～長崎）
	9日		あいち反核・平和マラソン&ジョギング（鶴舞公園）
9月	1日	ひろば10月号発行	
	6日		北海道第2回反核平和マラソン
	23日		徳島：反核平和マラソン
	26～27日		全国交流ウォーク「山古志へ行こう！」 全国ランニングセンター：関東ブロッククリニック（9月）
10月	5日	ひろば11月号発行	
	10～11日		第8回東海ブロックスポーツセミナーIN三重
11月	2日	ひろば12月号発行	
	3日		東京水泳競技大会兼全国水泳競技大会
	6～9日	仏・韓招待（50周年記念シンポ）	
	7日	連盟創立50周年記念行事（国際シンポ、レセプション）	
	7～8日	31期第2回評議員会、第7回理事会	
	15日		第21回全国サッカー競技西日本大会、第6回Foot a 7全国交流大会（大阪）
	14～15日		第49回全国軟式野球大会（福岡）、第6回西日本ソフトボール大会（高知）
	22日		第21回全国サッカー競技東日本大会（宮城）
	23日	四国ブロック会議	第5回ゆりかもめリレーマラソン（東京）
28～29日		第12回東日本ソフトボール大会（埼玉）	
28～29日		第19回全国シニアサッカー大会（千葉）	
28～29日		全国テニス選手権大会（高知）	
12月			富山県連盟総会
	5～6日		第13回全国バドミントン競技大会個人（名古屋）
	6日		愛知：高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン
	12～13日	31期第8回理事会	
	13日		第21回全国サッカー競技Final大会（千葉）
	19～20日		全国卓球選手権大会一般の部（京都）
<b>【2016年】</b>			
1月	10日		全国縦断新春マラソン（神奈川、愛知、大阪、和歌山、兵庫、北九州、福岡）
	17日		全国縦断新春マラソン（滋賀）
	16～17日		全国卓球選手権大会年別別の部（岡山）
2月	13～14日	31期第3回評議員会・第9回理事会	
3月	12～13日	32回定期全国総会	

\*追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

作成 2015年4月24日